

入院診療計画書② 脳血管造影を受けられる患者さまへ

ID: 患者ID

氏名: 氏名

新規作成日: 新規作成日

日付				
経過	1日目	2日目 (検査前)	2日目 (検査後)	3日目
目標	入院生活について理解できる 検査について理解できる		合併症の症状・所見がない 安静が守られている	日常生活の注意点について理解できる
注射		検査前から左腕に点滴をします。	検査後は、点滴が落ちきった時点で終了します (継続する場合があります)。	
投薬	●内服中のお薬を確認します。 ●入院中の内服は、変更になる場合があります。 ●自己管理の場合は、殻入れとチェックシートをお渡しします。	●中止されていないお薬は、食事にかかわらず内服してください。 ●検査時間によって、内服薬が変更になる場合があります。事前にお伝えします。		
検査 放射線				
処置	●身長と体重を測定します。 ●両手首と足の甲の脈拍が触れる場所に印を付けます。	●検査着に着替えます。 ●貴金属類や入れ歯ははずしてください。		朝、医師が腕のバンドをはずします。
食事	●病状に応じて食事内容が変わります。 ●ご希望に応じて、食事の種類を変更できます。 ●アレルギー食品がある場合は、お知らせください。	検査が ●午前中の場合は朝絶食 ●午後の場合は昼絶食です。	●検査後から、飲水できます。 ●食事は安静が解除されてからになります。	
清潔	●入浴できます。 ●浴室、シャワー室の利用時間は9:00~17:00です。			
排泄	●一日の排泄回数を覚えておいてください。 ●自室横のトイレをご利用ください。	検査前にトイレを済ませてください。	安静中はベッド上での排泄になります。	
安静度 リハビリ	●活動の制限はありません。 ●転倒の危険がある場合には、看護師が付き添います。		●検査後、2時間はベッド上で過ごして頂きます。トイレの際は看護師が付き添います。穿刺部を圧迫固定し、肘が曲がらないようにシーネで固定します。シーネは夕方に医師がはずします。穿刺部の圧迫固定は翌朝まで続きます。 ●2時間後からは歩行可となります。 ●初回歩行は、ふらつく危険があるため看護師が付き添い、歩行状況を確認します。 ●右腕は曲げないようにし、安静を保つようにしてください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●退院後2~3日は、右手で重たい荷物を持つのは控えてください。 ●入浴は可能です。穿刺部を強くこすらないように注意してください。 </div>
	リハビリテーションの予定はありません		●2時間後からは歩行可となります。 ●初回歩行は、ふらつく危険があるため看護師が付き添い、歩行状況を確認します。	
看護ケア	●体温や脈拍、血圧を測定します。 ●体調に変化があるときは、がまんせずお知らせください。	●検査前に体温や脈拍、血圧を測定します。 ●頭痛や吐き気、手足の動かしにくさがないか確認します。	●検査後も体温や脈拍、血圧を測定します。頭痛や吐き気、手足の動かしにくさがないか確認します。 ●検査部位の出血の有無や、手のしびれなどがいないか観察します。 ●カテーテル穿刺部の痛みや手のしびれなどがあるときは、がまんせずお知らせください。	
確認事項	検査の同意書を確認します			次回外来日をお伝えします。検査結果の説明があるため、必ずご家族と来院してください。
指導	●看護師が入院生活について説明します。 ●薬剤師が服薬指導を行ないます。 ●ワイヤーのないマスクを1~2枚ご用意ください (検査のとき着用します)。 		造影剤の排出を促すため、積極的に水分をとってください。	穿刺部からの出血、腫れや内出血が見られたときは、電話連絡のうえ受診してください。 腫れ 血がとまらない 横須賀共済病院 TEL 046-822-2710 脳神経外科外来 夜間・休日は救急外来